

山田南小と遠野市の附馬牛小 漁業体験通じ交流深める

山田南小の5年生55人は6月4日、町水産センターで漁業体験を行いました。地域の産業と自然とのかかわりを理解してもらおうと町内の漁業者の協力により行われているもので、当日は同校と交流のある附馬牛小（遠野市）の5年生15人も訪れ、ともにカキの収穫作業に汗を流しました。子供たちは収穫されたカキをロープから取り外し殻に付いた海藻などを取り除いた後、カキむきに挑戦。思うように開かないカキに悪戦苦闘しながらも、収穫の喜びを肌で感じていました。貴重な体験をした両校の児童らは、作業後に蒸し焼きにしたカキを味わいながら互いに交流を深めていました。



「さわやかウオーキング」を開催 船越半島の雄大な自然満喫

6月2日、町教育委員会が主催する「さわやかウオーキング」が開かれました。本町の自然を感じながら健康づくりに役立ててもらおうと霞露ヶ岳山頂を目指すコースで行われたもので、当日は最高齢80歳までの町民18人が参加しました。一行は漣磯登山口から新緑に囲まれた登山道を登り、1時間20分ほどで山頂に到着。つかの間の休憩をとり、初夏のさわやかな風を感じながら参加者同士交流を深めました。帰路は漣磯海岸に向かう約3kmのコース。急な坂道を下り、眼下に大釜崎などの海岸美が現れると、みな一同に感激の声を上げていました。参加者らは波の音や潮の香りを感じながら、雄大な自然を心行くまで満喫していました。

N響メンバーが大沢小で演奏会 一流の演奏を間近で体験

6月1日、「NHKこども音楽クラブ」が大沢小学校で開かれました。子供たちに音楽への理解と関心を深めてもらおうと全国の小学校で行われているもので、本年度東北地方では同校を含め2校で開催。会場となった同校の体育館には大沢小の全校児童に加え山田南小と山田北小の5～6年生も訪れ、NHK交響楽団の弦楽器奏者4人による演奏を鑑賞しました。コンサートでは、楽器のしくみなどを紹介する楽しいトークを交えながら、子供たちにも親しみやすい曲目を中心に演奏。「となりのトトロ」や各小学校の校歌が演奏されると児童らも声に出して一緒に歌うなど、一流の演奏を間近で感じながらコンサートを最後まで楽しんでいました。



ステージを降りて児童らの間近で演奏を聞かせてくれたN響メンバー（上写真）／奏者との触れ合いに子供たちも大喜びでした





今月の題字

佐々木 美羽 ちゃん
(山田北小2年)

田町のわだい

船越電子工業を誘致企業に認定 今後一層の企業努力を誓う

船越電子工業有限公司（芳賀泰彦代表取締役）＝織笠＝が町の誘致工場に認定され、町と工場立地協定、環境保全協定を締結しました。町では、町内に工場を新設・増設する場合に一定の基準を満たしたものを誘致工場に認定、固定資産税の減免など優遇措置をとっており、同社は14番目の認定となります。協定書調印・認定式は6月15日に役場特別応接室で行われ、芳賀代表取締役は「今後一層企業努力をして雇用など経済面で町に寄与していきたい」と述べました。



地域医療を守る会の講演会 180人が熱心に聞き入る

山田病院と地域医療を守る会（佐藤照彦会長）の総会と設立1周年記念講演会が5月30日、町中央公民館で開かれました。総会終了後、前宮古市長の熊坂義裕盛岡大学教授が「糖尿病物語」と題して講演。40歳以上の3分の1が患者かその予備軍とされる糖尿病について「糖尿病になると平均10年寿命が縮まるといわれているが、患者の半数近くは通院していない状況がある」と問題を提起。その上で「行政による指導を強化するとともに、患者やその予備軍の意識を変えることが住民の健康につながり、医療費の抑制もできる」との説明に、会場に集まった180人の参加者は熱心に聞き入っていました。

山田民謡伝承会から町に善意 福祉向上にと5万円を寄付

6月3日、山田民謡伝承会（阿部實会長・会員10人）が町に5万円を寄付しました。町の活性化推進の一助にと、町内外約40の個人・団体の協賛により5月15日に町中央公民館で開催した第4回発表会の益金を贈ったものです。贈呈式は役場で行われ、阿部会長と佐々木ゆみ子会計が訪問。阿部会長が「町の福祉向上のために役立ててください」と沼崎喜一町長に寄付金を手渡すと、沼崎町長は「大切にに使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

